

多文化共生施策について

取組	概要	実施主体
広報はちのへ記事掲載	年1回程度、「多文化共生」をテーマとした記事を掲載。	市民連携推進課
外国人相談窓口	多言語翻訳機や支援員（外国人コミュニケーション支援員・国際交流員）を活用し、相談対応及び行政窓口での通訳を実施	市民連携推進課
多言語対応	他課業務の翻訳・通訳対応のほか、パンフレットや案内表示の多言語化を支援	市民連携推進課
日本語講座	日本語教室を対面・オンラインで年間延べ300回以上開催。NPO法人みちのく国際日本語教育センター（MIJEC）に委託	市民連携推進課
外国人向け生活情報紙	主に市民課窓口で転入手続の際に配布。やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語に対応	市民連携推進課
外国人向け防災ガイドブック	主に市民課窓口で転入手続の際に配布。やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語に対応	市民連携推進課
地域おこし協力隊	日本語教育の推進や国際交流イベントの企画運営等の活動に取り組む。現在隊員募集中	市民連携推進課
外国人介護人材定着支援事業	業務マニュアルの翻訳費用や日本語学習の講習料、生活支援に要する経費を補助（青森県地域医療介護総合確保基金を活用）	介護保険課
外国人介護人材交流会・研修会事業	外国人介護人材、雇用している介護施設、雇用を検討している介護施設等を対象に交流会・研修会を開催	介護保険課
外国人介護人材ヘルプデスクの設置	外国人介護人材等が直面する困りごとや悩みごとについて相談対応（内容に応じて関係機関へ取次）	介護保険課
日本語教育支援事業	日本語教育支援講師を小・中学校に派遣し、初期の日本語学習を支援（講師はMIJECに依頼）	学校教育課
交流促進事業	国際交流イベントを開催（多文化理解交流イベント、国際交流フェスタ、多文化交流ラボ「しゃべるべ」）	八戸国際交流協会
在住外国人支援事業	外国人と日本人が一緒に学ぶ「地域で育むBOSAI力講座」を開催（市、地域と共催）するほか、外国につながる子どもの支援を実施	八戸国際交流協会
通訳・ガイド支援事業	八戸市を訪れた外国人を対象に英語ガイドを実施。近年は米軍三沢基地新規赴任者八戸ツアーやリサイクルプラザの英語ガイドを実施	八戸国際交流協会
調査広報事業	年2回、機関紙「りんぐりんぐ」を発行。協会ホームページやSNS等で情報発信	八戸国際交流協会